

小田山歴史散策報告書

1. 空には鱗雲、漸く会津にも秋の気配が聞こえ、歴史散策には最高の天気日和です。小田山公園駐車場が集合場所で、参加者は一般参加者を含め 16 名です。叶対策のため、参加者の体調確認と体温測定を行いました。全員異常なしです。挨拶と散策行程の説明。さあ！山頂を目指して元気に出発です。



画像拡大



□芦名家墓跡



□軍砲陣跡からの鶴ヶ城



□山頂には田中玄宰（たなか はるなか）の墓と丹羽能教の墓



西村会長撮影 [01] [02] [03] [04] [05] [06] [07] [08] [09] [10]

□東山庵での昼食と懇談

「皆さんの会津歴史の博識には感心です。一般参加者からの“歴史散策”提案があり感激です」



□桜とあけび



□参加者名簿

NO.	氏名	住所	備考
01	佐藤和光	北塩原村	会津学知会
02	西村洋文	福島市	福島同窓会
03	浜田忠義	喜多方市	一般参加
04	益満和子	会津若松	一般参加
05	歌川和子	会津若松	一般参加
06	歌川和秀	会津美里町	一般参加
07	中野まさ子	会津若松	会津学知会
08	田崎節子	会津若松	会津学知会
09	目黒ㇿ子	金山町	会津学知会
10	橋本啓子	郡山市	福島同窓会
11	山田涼子	須賀川市	福島同窓会
12	館順子	鏡石町	福島同窓会
13	三瓶良男	本宮市	福島同窓会
14	佐藤修	郡山市	福島同窓会
15	塩谷徳子	会津若松	会津学知会
16	庄司利則	喜多方市	会津学知会
18			
19			
20			

※障害保険加入、福島同窓会(共催)・会津学知会(主催)

※新型コロナウイルス感染防止対策の徹底(マスク着用・ワクチン接種・体調確認・人との適切間隔など)

古代から中世、会津はどんなだったでしょう。

646(大化二年) 国郡の制定まる

道(奥国)設置。後に陸奥と改む。

718(養老二年) 陸奥国 石城、石背に国分置く。(後廃止)

会津郡は石背国に属す。

806(大同元年) 磐梯山大噴火

— この頃より徳一大師会津に —

807(大同二年) 恵日寺、勝常寺、柳津円蔵寺創建

(815(弘仁六年) 会津徳一への空海の手紙

817~821(弘仁十一年) 最澄と徳一との三権実論争
(天台宗一乗説) (法相宗三乗)

840(承和元年) までに会津郡から耶麻郡分立

磐梯山信仰を元に神仏習合による仏教が活性化

塔寺・帷宮、恵日寺、勝常寺による軍事的・政治的支配

1181(治承五年) 横田河原の戦い 木曾義仲(源氏) × 城長茂(平氏)

恵日寺衆徒多数戦死 - 恵日寺支配にかけりか。

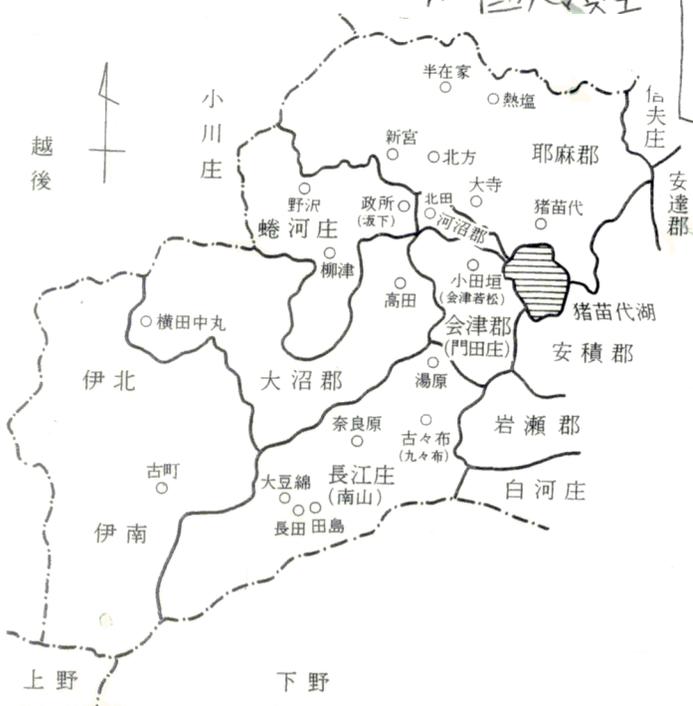
1189(文治五年) 源頼朝奥州合戦勝利、藤原秀衡滅ぶ

佐原義連へ会津四郡支配

★ 国人領主

長沼氏
山内氏
河原田氏

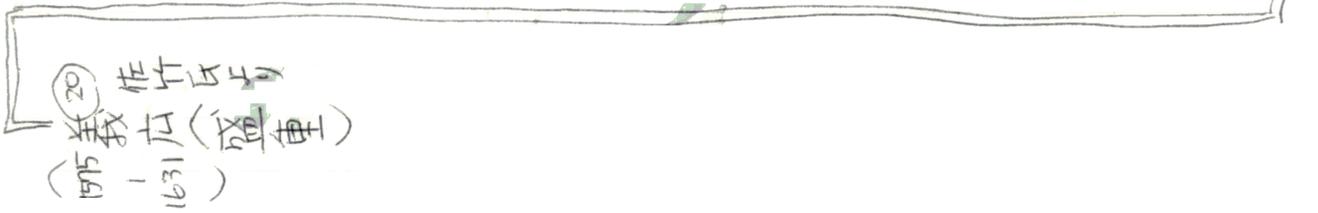
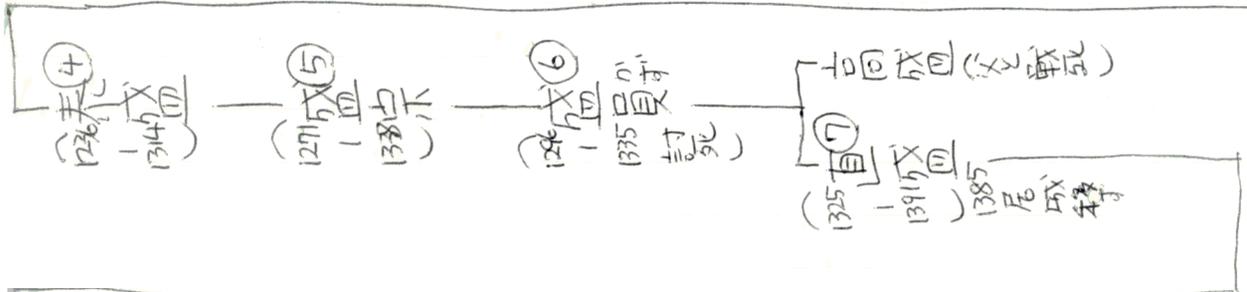
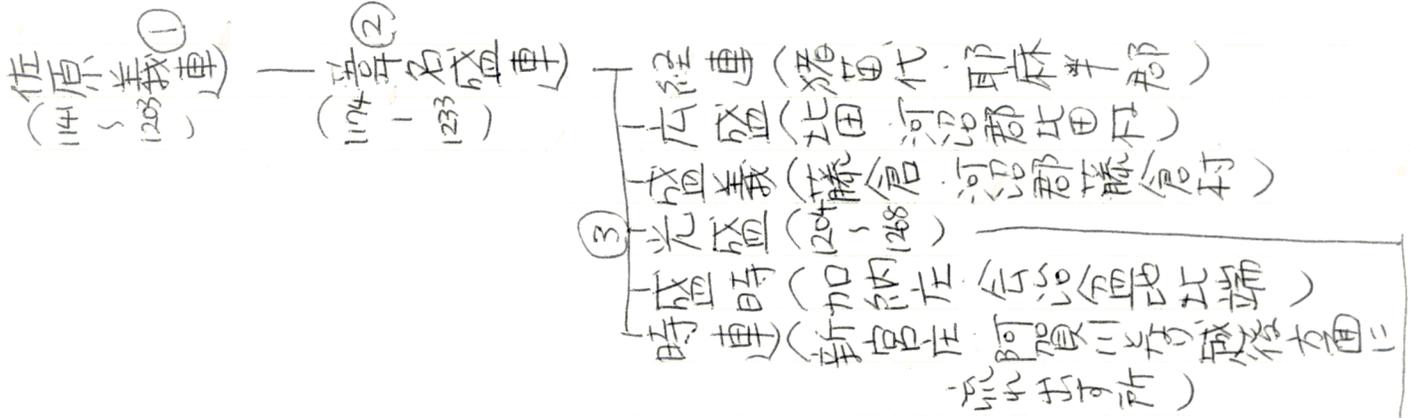
南会津南東部 田島、下郷
会津西部 金山、島只見、西会津、津川
南会津 伊南、南郷



[参考文献]

- 菅石氏系譜 菅石一族研究会
- 会津若松市史
- 田島町史
- 会津四家合全
- 会津の城
- 会津史談 75号
- 歴史春秋 30号

甚耳名氏系図



天正十七年(1589)伊達政宗より甚耳名氏亡す